

岐阜市ゼロカーボン市民懇談会

第2回 脱炭素に向けて（生活編）

令和7年11月8日(土) 9時～12時

参加者：33名

進行：神田浩史(NPO 法人ぎふ NPO センター 理事)

・ 前回の振り返り

第2回の話に入る前に、第1回岐阜市ゼロカーボン市民懇談会のグラフィック・レコードなどを見ながら、6,7名のグループで感想を話しました。



・ 岐阜市の脱炭素の施策について～岐阜市ゼロカーボンシティ宣言の目指すもの～
(岐阜市ゼロカーボンシティ推進課)

- 岐阜市の部門別二酸化炭素排出量は、国や岐阜県と比較して「民生家庭部門」や「運輸部門」の割合が多いことが説明されました。
- 温室効果ガスの排出を削減する【緩和】の施策を中心に、岐阜市の施策が語られました。
- アクション・プランの作成テーマを決めるにあたって、参考にしてもらいたいことが2つ挙げられました。

①「民生家庭部門」「運輸部門」からのCO2排出を減らしたい

②「再生可能エネルギー」を導入する市民を増やしたい

また、それらの関心が高まるための取り組みについても考えてもらいたいことが話されました。



- ・ 講演：浅野かつ代氏(NPO 法人ピープルズコミュニティ 副理事長兼事務局長)
「一人一人、地域社会、NPO が積み上げてきた地球温暖化対策」
- 輪之内町での生ごみの堆肥化やエコドームの運営などの脱炭素に向けて取り組む活動が紹介されました。
- 25 年前に婦人会で環境保全施設の視察をし、可燃ごみの 46%が水分であることを知り、生ごみの分別を進めるため、説明会の開催を行ってきた経験が語られました。
- 生ごみ処理をする畑を持たない方を対象に行っている貸農園の取り組みや畑で取れた野菜を使ったエコクッキングの取り組みなどが紹介されました。



・アクション・プランの作成①

第2回～第4回までの市民懇談会でアクション・プランの作成を行います。自己紹介の後、まずは個人でアクション・プランシートに沿って内容を考えました。

その後、グループで個人の意見を共有して、現時点での各グループのアクション・プランを形成しました。

グループごとに発表し、本市民懇談会アドバイザーの三上直之氏と講師の浅野かつ代氏からコメントをもらい、第2回の市民懇談会を終了しました。

